

第 1 章

管内の概要

- 1 地理的概要
- 2 構成市町村の概況
- 3 管内面積・人口及び世帯数
- 4 管轄図・消防機関所在地
- 5 消防本部及び署の組織

1 地理的概要

人吉下球磨消防組合は、熊本県の最南部人吉市の、東経 130 度 44 分 9 秒、北緯 32 度 13 分 0 秒に位置し、人吉市、錦町、相良村、五木村、山江村、球磨村の 1 市 1 町 4 村をもって構成している。

地理的空間は、南九州の三県庁所在地（鹿児島市・宮崎市・熊本市）のほぼ中心に位置し、南は宮崎県と鹿児島県に隣接する広大な山地を有する盆地であり、国見岳、市房山を主峰とする山塊に囲まれ、これらの山岳から集まった水は日本三大急流の一つである清流「球磨川」をなし、人吉盆地を貫流し、八代海に注いでいる。この「球磨川」は、県内最大・最長の 1 級河川であり、流域面積 1,880 平方キロメートル、延長 115 キロメートルで、主に川辺川や万江川など 30 以上の支流が、球磨川に流れ込んでいる。



人吉球磨の地形と球磨川及び主な支流

球磨川流域下では過去、繰り返し洪水被害が発生している。中でも、1965 年（昭和 40 年）に発生した、「球磨川大水害（昭和 40 年 7 月洪水）」では、流域市町村において家屋の損壊・流失 1,281 戸、床上浸水 2,751 戸、床下 10,074 戸と甚大な被害をもたらし、浸水深が戦後最大であった。

今回の「令和 2 年 7 月豪雨」では、この浸水深を上回り戦後最大となっている。



昭和 40 年 7 月洪水 人吉市九日町



昭和 40 年 7 月洪水 人吉市青井町

2 構成市町村の概況

管内の構成市町村の概況は、次のとおりである。



人吉市は熊本県の最南部に位置しており、南は鹿児島、宮崎の両県に接している。

九州の小京都と呼ばれ、「球磨川くだり」「人吉温泉」「球磨焼酎」を楽しめる観光地として古くから親しまれ、また近年では、球磨川でのラフティングが大きな人気を集めている。

また、市内の青井阿蘇神社が県内の建造物では初めて国宝に指定されたことに続き、JR肥薩線「SL人吉号」の復活や「特急かわせみやませみ」の運行など、盛り上がりを見せている。



青井阿蘇神社と球磨川くだり

にしきまち
錦町



錦町は熊本県の南部に位置しており、町内の中心部

を国道219号が東西に横断し、国道と並行して北寄りに約2km隔てて日本三大急流のひとつである「球磨川」が西流している。初夏になると、球磨川河川敷には町花である『ツクシイバラ』が咲き乱れている。

錦町の基幹産業は農業であり、南部の山麓地帯は『梨・桃』、北部の丘陵地帯は『茶』の産地となっており、中央部では球磨川が育んだ肥沃な大地からとれる良質な米が生産されている。



球磨川沿いのツクシイバラ

さがらむら
相良村



相良村は、球磨県のほぼ中央に位置し、清流「川辺川」が北

から南へ貫流する、豊かな自然と古の先人が残してくれた歴史と伝統が息づく山紫水明の農山村である。

県内の生産量を誇る「茶」等、農林業が主産業であり、「水と緑を活かした潤いある村づくり」に取り組んでいる。

また、緑に包まれ澄んだ流れの川辺川をはじめ、四季折々の豊かな相良村の表情を1年中楽しむことができる。



川辺川と雨宮の森

いつきむら
五木村



五木村は、熊本県の南部に位置し、村のほぼ中央を14年

連続水質日本一の清流「川辺川」が貫流し、四季折々の自然に彩られたのどかな村である。全国的に有名な「五木の子守唄」の発祥の地としても知られている。

近年は地域資源を活かしたバンジージャンプ・カヤック・ツリークライミング・サイクリング等が楽しめる「アウトドアフロンティア」としても注目されている。



カヤックとバンジージャンプ

やまむら
山江村



のどかな田園風景と緑豊かな山々に囲まれた自然あふれる農山村である。

農地を潤す豊かな山田川と美しく澄んだ清流の万江川を有し、肥沃な土地柄で大変おいしい米、野菜、果樹等が育つ。

特に、万江川はヤマメや鮎などが生息する九州でも有数の清流であるとともに、盆地特有の気候を利用して良質な栗の栽培に力を入れており、トップブランド化を図っている。

また、相良三十三観音の一つである「合戦峰観音堂」をはじめ、国指定重要文化財「山田大王神社」や産業考古学推薦産業遺産「ボンネットバス」など多くの歴史的資源に恵まれている。



特産品の栗とボンネットバスマロン号

くまむら
球磨村



日本三大急流

「球磨川」の中流部に位置し、スリル満点の「球磨川くだり」と「ラフティング」の聖地である。その支流には、日本昔話に出てくるような美しい棚田が数多く点在し、日本の原風景そのもの。特に、「松谷棚田」は文化庁の重要文化的景観のパンフレットの表紙を飾り、「鬼ノ口棚田」は規則的な区画と堅牢な石積みが見事で、共に「日本の棚田百選」に選ばれている。

また、3億年の自然の芸術品が眠る九州最大級の鍾乳洞「球泉洞」は恋愛や縁結びのパワースポット「恋人の聖地」となっている。



松谷棚田と球磨川と球泉洞

3 管内面積・人口及び世帯数

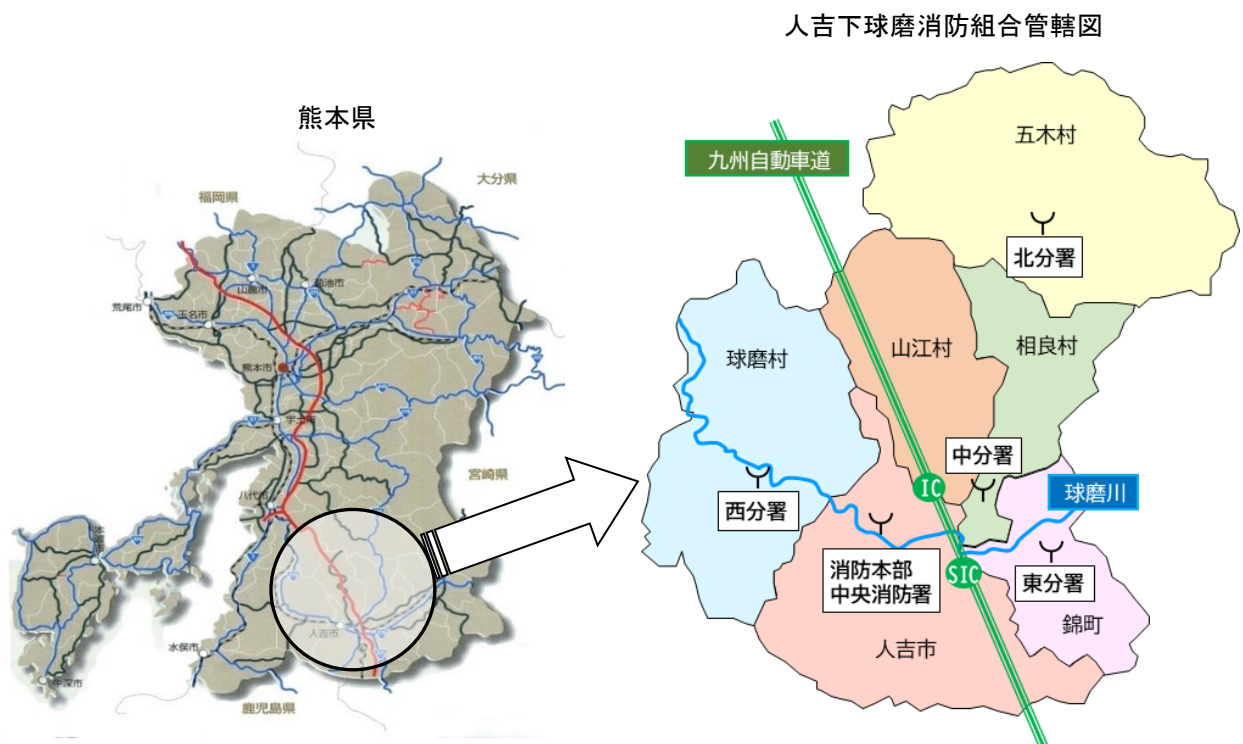
管内の面積、人口及び世帯数は下表のとおりである。

	面 積 (km ²)	人 口 (人)	国調人口 (人)	世 帯 数 (戸)
人吉市	21,055	31,867	33,880	15,447
錦 町	8,504	10,443	10,766	3,835
相良村	9,454	4,326	4,468	1,627
五木村	25,292	1,058	1,055	497
山江村	12,119	3,433	3,422	1,209
球磨村	20,758	3,540	3,698	1,436
計	97,182	54,667	57,289	24,051

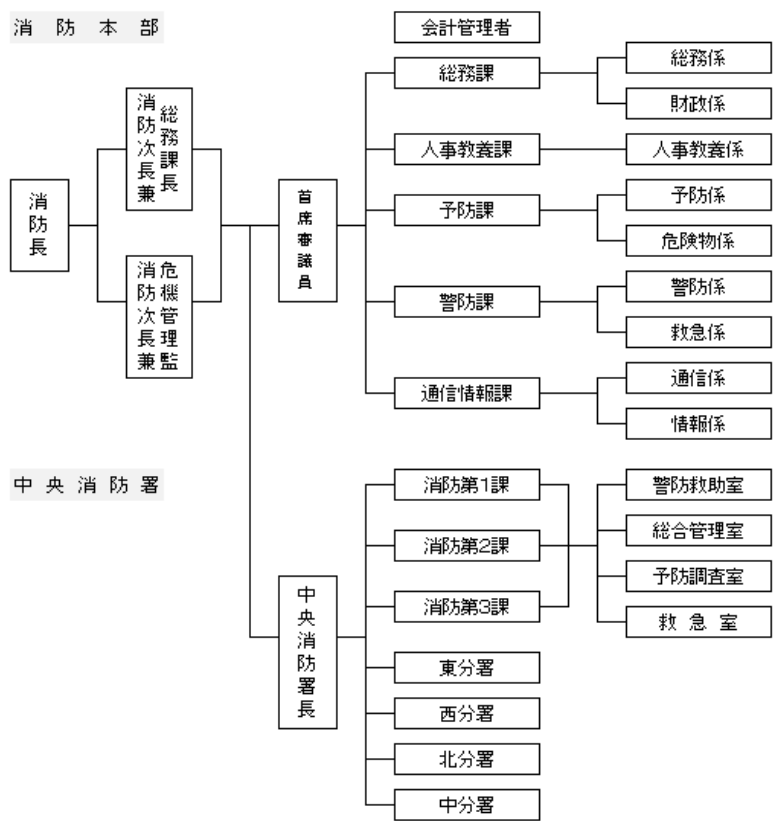
※令和2年4月1日現在

4 管轄図・消防機関所在地

当組合の管轄図及び消防機関所在地は下図のとおりである。

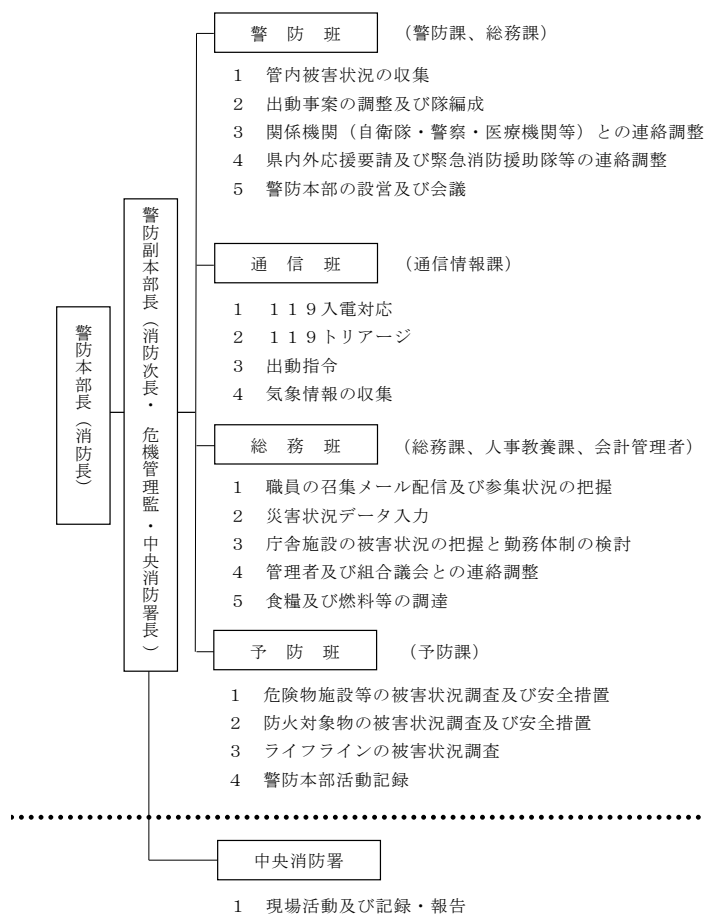


令和2年4月1日現在の人吉下球磨消防組合の組織は、下図のとおり1本部5課、1署3課、4分署であり、職員定数は110名である。



(令和2年4月1日現在)

警防本部編成及び任務表は下図のとおりである。



(水防体制)

第7条 消防長は、水災に迅速に対応するため、関係市町村に災害対策本部が設置された場合又は消防長が必要と認めた場合は、次の各号に定める水防体制をとるものとする。

(1) 第1水防体制

ア 当日の勤務員で対応する。

イ 情報収集体制を強化する。

ウ 庁舎及び施設を防護し、水防資器材の準備を行う。

エ 必要に応じ、消防本部幹部職員を召集し、警戒本部を設置する。

(2) 第2水防体制

ア 人吉下球磨消防組合警防本部運営規程に基づく警防本部を設置する。ただし、警防本部設置前に警戒本部が設置されている場合は、警防本部の設置に伴い自動的に移行するものとする。

イ 必要に応じ、非番職員、課長補佐以上の職員、分署長及び本部職員を召集し体制を強化する。

(3) 第3水防体制

ア 全職員を召集する。

イ 前号の体制を強化する。

※人吉下球磨消防組合水災警防規程から抜粋

(令和2年4月1日現在)